
始まりは幼なじみ

よう

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

始まりは幼なじみ

【Nコード】

N5428E

【作者名】

よう

【あらすじ】

始まりは幼なじみだった。でも恋人変わった。凜は美少女。でもちよつとHな女の子。純は美少年。凜に告白し見事恋人になった。でもあんな目にあっちゃって!!!!???

第1わぁ 告白& a m p・初H??????

始まりは幼なじみ。

幼なじみから恋人へ変わった瞬間。

あたし達は屋上にいた。

あたしは石川凜。

今幼なじみの渡部純に屋上に来てと呼び出しされた。

『純!どうしたの?ここじゃダメ?』

『だーめ!だから屋上行こう?嫌なの?』

うつ!昔からあたしはこの顔に弱い!昔から弱いが最近ますますか
つこよくなつてさらに弱くなつてきた!

『うー!わかつたよ!だからそんな顔しないで?』

『ごめん!ごめん!でも凜もそんな顔しないで?』

凜は最近すごく可愛くなった!クラスの男子がほとんど凜に惚れて
いるらしい...

『わかつたあ!じゃあ早く行こうよ!』

『おう!』

『ふゝ!やつと上りきつた!結構疲れるね!』

『そうか?俺は全然!サッカーはつらいからな!』

『そっかあ!サッカー部はつらいもんね!』

『うん』

『で?話つてなあに?』

『うん』

:

:

:

『どうしたの?なんでなんも言わないの?』

『ごめん。』

『大丈夫だよ？あたし純が言えるまで待つ！一緒にサボっちゃおうか！？』

『うん』

『あはは！あたしサボンの初めて！なんかドキドキするー！』

『俺もドキドキする。』

『やつぱる？ドキドキするよね』

『あのさ、』

『ん？言えるようになった？』

『おう。』

『凜おねいさまが聞いてあげる！』

『おねいさまって同じ年だろ！』

『そうだっけー？（笑）』

『そうだよ。』

『まあいーや！でっ？何？もしかして好きな人でもできた？』

『うん。』

『えっマジで？純からそんなこと言うなんて初めてじゃん！！誰？

誰？教えてよ！だから屋上に呼んだんでしょ？相談したくて！』

『うん。教える。教えるけど相談じゃない。』

『へ？ぢやあ何？』

『……告白。…』

『へ？ちよっえっ？意味わかんない！誰に？』

『凜に。』

『あたし？あたしに何告白するの？悩みでもあるの？』

『あーもうなんでわかんないかな〜！（怒）』

『えっ？なんで怒ってんの？』

『凜。告白って何？』

『それはそりゃー好きな人に好きって言うことでしょ？』

『そうだよ。ぢやあおバカな凜の為にもっかい言っよ？』

『わかんないけどおバカぢやないもん！』

『凜に告白する。』

『…………』
『凜？意味わかった？』
『わかった。…………純があたしのこと好きってことでしょ？』
『…そうだよ。／／／／／』
『純顔真っ赤だよ？』
『！…！あたまえだろ！生まれて初めての告白だぞ…！』
『うん』
『返事…………聞かせて？』
『あ…………たし…………き』
『え？聞こえない。』
『…あたしも…好き／／』
『凜／／／／／』
ギューー
『ずっと…ずっと好き…だったの…大…好きだったの（泣）』
『うん。俺も』
『バカ純。な…でもっと早く…言わなかったの？』
『恥ずかしいから／／／／／』
『男でしょ？』
『ごめん。…………ねえキスしていい？』
『／／／／純のエロじじい。／／／／』
『エロじじいで悪かったな／／／』
『……………いよ。』
『いいの？』
『／／／／うん』
『本当にいいの？』
『もう何度も聞かないでよ／／』
『ごめん』
『キス…して？』
『チュッつ。』
『違う。』

『えっ?』

ちゅううう。

『んっ? んんー??』

クチュクチュ。

ぶはぁ。

『純男のくせに可愛い声。』

『うるさい／＼／』

『気持ちよかったの?』

『……………うん』

『可愛い』

『戻ろっぜ?』

『うん!』

『後でメールするからな』

『わかった。また後でね!』

『おう。』

こうしてあたし達は恋人同士になった。 - - - 放課後 - - -

『純! 遅くなつてごめんね!』

『／／／大丈夫。』

『顔真っ赤だよ?』

『／／／／／…うるさい』

『もしかしてもしかすると……………思い出しちゃったりしちゃってる?』

『／／／／／……………』

『純可愛い〜〜!』

『俺こーゆのって初めてだから…………／／／』

『付き合っのが?』

『／／／うん』

『アハ! 純可愛い〜〜! ぢゃあ童貞?』

『／／／／／……………聞くなよ!』

「アハハハハ！」
「一個聞いてい？」
「ん？何？」
「今まで何人と付き合ってきた？」
「えー普通。」
「普通って何人？」
「エート……13人？純あわせて14人目。」
「それ普通じゃないし。」
「そーお？」
「何歳だよ。」
「アハハハハ！」
「俺力ツコ悪いな……」
「何で？」
「ノ／ノ／／こんな事でヤキモチ妬いちゃってさ。」
「……ぢゃあかつこつけさせてあげようか？」
「……………おう。」
「純素直で可愛い〜！」
「うるさい」
「キスして」
「ノ／はっ？なんで？やだよ。恥ずかし」
「かつこつけさせてあげるって言ったぢゃん」
「やだよ。ここ校門だし。」
「ぢゃあ来て？」
「ちよつどこ行くの？」
「ラブホ」
「えー……………」
「……………」
「ほらここなら大丈夫でしょ？」
「……………うん」

『キスして?』

ちゅ

『こないだも言ったでしょちゃんと舌入れて。』

『うん』

ぢゅ くちゅ ちゅく

『はっ

ふぁ ふっ』

『純可愛い声』

『……っるさい』

『続きする?純が決めて。』

『……怖い』

『大丈夫。怖くないよ』

『………する』

ちゅく

『あっ!』

『もう硬くなってる』

『んん!』

『舐めて欲しい?』

『／／／舐めて』

『やだ』

『やっなんで』

『放置プレイ(笑)!』

『ちよっ何やってんの?』

『縛ってんの』

『ひぁ!』

『よし!これでオッケー。』

『これ何?痛いよ』

『これはね〜コックリングって言ってイケないようにしてんの』

『やだよ。イキタイ。』

『あっ忘れてた。飲んで。』

『何？』

『いいから』

ゴクゴク

『飲んだ。』

『純はいいこだね』

『暑い。はあはあ』

『あーあ。あんなに飲むから。』

ズブツ

『痛！痛いよ。何？抜いて』

『これはねバイブって言うんだ！』

『……あっ……ああ！』

『だんだん気持ちよくなってきたでしょ？』

『ああ！んう！』

『ぢゃあ、あたしはシャワー浴びてくるね！』

『やつあ！凜！ああ！』

『ああ。やつもイキタイああ！んん』

『あつもダメ~~~~~んんん~~~~~』

『はっはっはあ！』

『純可愛い〜！もう空イキしちゃったの？』

第2わぁ H

『純イクの早すぎ(笑)』

『はっ…だつてああ…もっむり』

『後3回いけばぬいてあげる』

『やつはっ ああああ!』

『ほら後2回だよ!』

『む…ああ…りだよ』

『ぢゃあ手伝つてあげようか?』

『…うん。ん…ん』

『舐めて欲しい?』

『ああ。な…めて。ん』

『何処を????』

力チ

『あああ〜!』

『乳首?ペニス?』

『…あああ…どっ…ちもああ』

『純の淫乱さん!(笑)』

(くそっ!!誰のせいだよ!)

ちゅ ちゅく こり かり

『ひあ!…!!んんん』

『ちゃんとイケたね。今日はもう休みな』

『うん』

:

:

:

~~~~~翌日!~~~~~

『くそっ!!さんざんやりやがって!!』

『でも気持ち良かったでしょ?』

『全然！！！！』

『ぢゃあもうやーらない！！』

『えっ！！』

『やって欲しいの??』

『／／／／／／／／／／』

『ちゃんと言わなきゃわかんない』

『／／／／／また……して????』

『純はいいこだね！！またしたげる！！』

『／／／／もやだ。凜嫌い。』

『……本当グスツに……嫌い??グスツ』

『あつごめん！！嘘！！嘘に決まってる??』

『だって……グスツ嫌いって言った……。グスツ』  
『ごめん。嘘だ』

『よ！！だから泣かないで??ね??』

『……わかった。も泣かない』

『やつべー凜の泣き顔見たら起つてきた。』

『ねえ俺んち行かない??』

『純家? いいけど隣ぢゃん！！』

『いいから! いいから!』

『うん! 行こ(ニヤ)』

この後の純は皆様のご想像にお任せにます!!!!

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5428e/>

---

始まりは幼なじみ

2010年10月21日21時06分発行